

宮代町教育委員会の事務に関する点検評価報告書(案)

(平成28年度事務事業)

平成29年 月  
宮代町教育委員会

# 目 次

はじめに	・・・	1
I. 平成28年度の宮代町教育行政重点施策	・・・	2
II. 評価方法について	・・・	2
III. 施策ごとの事務事業の点検・評価		
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成		
基本目標1 確かな学力と自立する力の育成	・・・	3
基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成	・・・	11
基本目標3 地域に開かれた、質の高い学校教育の推進	・・・	17
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり		
基本目標4 家庭・地域の教育力の向上	・・・	23
基本目標5 生涯学習とスポーツの振興	・・・	27
IV. 宮代町教育振興基本計画 成果目標達成状況	・・・	37

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされています。

宮代町教育委員会では、同法の趣旨に基づき、「宮代町教育行政重点施策」に沿って教育行政の執行状況を自己点検し、今後の教育行政に生かすとともに、町民のみなさまに説明責任を果たすべく、平成28年度における教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し報告書にまとめました。本報告書を通して、町民のみなさまに各事業がどのように展開されているのか、その執行状況を公表し、ご意見をいただき、よりよい宮代町の教育を充実、実現してまいりたいと考えております。

なお、この点検・評価を行うにあたりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するとともにその客観性を確保する観点から、3名の外部評価委員からご意見をいただきました。今後とも教育行政の執行状況について点検・評価を実施し、効果的な教育行政を推進してまいります。

平成29年 月

宮代町教育委員会

## I. 平成28年度の宮代町教育行政重点施策

宮代町教育委員会は、「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を基本理念として、2つの基本方針の下、5つの基本目標に基づいて教育各分野の施策に取り組んできました。

基本目標	
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成	
1. 確かな学力と自立する力の育成	
2. 健康で心豊かな児童生徒の育成	
3. 地域に開かれた、質の高い学校教育の推進	
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり	
4. 家庭・地域の教育力の向上	
5. 生涯学習とスポーツの振興	

町民一人一人が、さまざまな社会環境の変化に対応し、人間と環境が調和した景観を創造していきながら、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送るため、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人間の育成が図られるよう、引き続き町民の期待に応える教育を推進してまいります。

## II. 評価方法について

### 1. 自己評価

教育委員会では、平成28年度に実施した各事務事業の実施結果を、「I. 宮代町教育行政重点施策」に掲げる各目標に照らした「達成度合い」を以下の4段階に分けて自己評価を行いました。

◎ 前進	○ 達成	△ 未達成	× 未実施
実施内容の向上・改善 新たな取組みの実施	教育重点施策に掲げる 目標を達成	予定・計画の水準未達 期限までに未完了	事業未実施

### 2. 外部評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会の事務の点検評価にあたっては「教育に関し学識経験を有するものの知見を活用する（同法第26条）」とされています。平成28年度に実施した各事務事業の点検評価にあたっては、「1. 自己評価」に基づき、3名の方に点検評価を行っていただきました。

氏名	分野
小島 明身	学校教育（元小学校長）
佐藤 恵祐	保護者（宮代町PTA連絡協議会）
石田 俊幸	生涯学習（宮代町体育協会）

〔敬称略〕

方針1 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成  
 基本目標1 確かな学力と自立する力の育成

施策(1) 一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実 自己評価

取組		
ア 教科指導の充実と指導方法の工夫・改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校課題研究の推進</li>   <li>・町研究委嘱 各小中学校での授業研究実践</li>   <li>◎文科省委嘱「英語教育強化地域拠点事業」 小学校における英語の教科化の研究開発</li> </ul>	学校教育	○
イ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上等検討委員会 調査結果の分析による各校課題の解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取り組み内容、成果、課題等の研究</li> </ul>	学校教育	○
ウ 少人数指導・習熟度別指導によるきめ細やかな指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・町費非常勤講師配置 少人数指導やティームティーチングの指導による、個に応じたきめ細かな指導</li> </ul>	学校教育	○

▼宮代町教育委員会による委嘱研究推進  
(各小中学校)

町委嘱研究発表会

須賀小 H28. 11. 18

テーマ「生きる力を育む小中一貫教育～人とのかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする子どもの育成～基礎学力を高め、わかる楽しさを味わえる算数授業」

前原中 H28. 11. 22

テーマ「主体的に学び、自ら進んで活動する生徒の育成～意欲的に学ぶ言語活動の工夫」

▼英語教育強化地域拠点事業  
(H26～ 文部科学省委嘱)

百間中学校区(東小、笠原小、百間中学校)における小学校の英語教科化の研究開発

▼宮代町教職員全体研修会開催 (H28. 8. 24実施)

- ・講演「アクティブラーニング」
- ・教育課程伝達講習及び教科部会実施

▼宮代町教育課程検討委員会 (H28. 12. 14実施)

▼学力向上等検討委員会 (年間3回開催)

調査結果から明確となった自校の課題や課題解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取組内容、成果、課題等の共有

- ・第1回学力向上等検討委員会 (H28. 4. 7)

平成27年度の埼玉県学習状況調査及び全国学力学習状況調査の結果分析を踏まえた各学校の取組状況に関する情報交換

- ・第2回学力向上等検討委員会 (H28. 8. 23)

埼玉県学習状況調査の分析と今後の各小中学校の取組

- ・第3回学力向上等検討委員会 (H28. 12. 9)

全国学力学習状況調査の分析と各小中学校の取組

▼小学校 非常勤講師を8人配置

非常勤講師が担任と協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、特に算数の授業において個に応じたきめ細かな指導

▼中学校 非常勤講師を6人配置

非常勤講師と教科担任が協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導が充実

・各校の実態に応じて、数学1名、保体3名、国語1名、英語1名を配置

・「英語教育強化地域拠点事業」をはじめ、宮代町の取組は充実してきていると思います。繰り返し英語を聞かせることで「慣れ」、「親しみ」、結果として「読み」、「書き」にもつながっています。

・英語教育の授業は極力英語で行っており、耳から聞き、慣れ親しむことで言語の獲得に努められている。「聞く」、「話す」の充実に加え、「読み」、「書き」の充実さらに努めてほしいと思います。

・一人一人の教師が取り組む具体策がはっきりしてきており、少しの工夫、意識の改善が大きな成果につながってきていると思います。

・各小中学校では、全教職員が一丸となって取り組んでいます。若手職員が増えている中で、指導力の向上が図れるよう、今後もより指導方法の工夫・改善に努めてほしい願います。

<p>エ 中学校区を中心とした特色ある小中一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育推進委員会 各小中学校で特色を生かした年間計画の作成と実践、課題共有</li> <li>・交流活動、交流授業、出前授業</li> <li>・9ヵ年を見通したカリキュラム</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>施策（２）伝統と文化を尊重し、国際性をはぐくむ教育の推進</b></p>		
<p>取組</p> <p>ア 伝統と文化を尊重する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>イ 外国語活動・英語教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育研修会の実施</li> </ul> <p>◎ALT配置(小学校巡回増員)</p> <p>各中学校に1名配置、各小学校へ指導派遣（1名増員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語指導補助員配置（2名配置）</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

- ▼小中一貫教育推進委員会（年間2回開催）
  - 第1回（H28.6.20）  
各中学校区における本年度の年間計画及び具体的な取組について
  - 第2回（H29.3.13）  
各中学校区における本年度の実践内容と次年度に向けた課題について
- ▼交流活動、交流授業、出前授業、9ヵ年を見通したカリキュラム等、各中学区で学校の実態に即した特色ある教育活動を推進

- ・小学校教員のきめ細やかな指導や中学校教員の専門性を互いに学ぶことができ、指導の幅が広がってきています。
- ・学力向上、豊かな心を育めるよう、特色ある小中一貫教育を推進しており、系統的に9年間を見通した取組を継続して行ってください。

平成28年度の執行状況

点検・評価委員意見

- ▼郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会
  - 須賀中学校区 H28.10.3
  - 百間中学校区 H28.10.27
  - 前原中学校区 H28.10.14

- ▼外国人英語指導助手（ALT）配置  
（中学校各1名、小学校1名）  
具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えた言語活動など、コミュニケーション能力の向上のため活用
- ▼日本人外国語活動補助員を配置（小学校各1名）  
教員とALT、児童とのコミュニケーションの活発化
- ▼外国語活動・英語教育研修会（H28.8.26）
- ▼英語教育強化地域拠点事業  
（H26～ 百間中学校区）
  - ・小中を貫く英語科カリキュラムの作成
  - ・小学校の英語教科化に向けた教材開発

- ・外国語活動のスタートを小5から小3年に引き下げ、高学年では教科化して、初歩的な英語の運用能力を学び、中学校では、実践的な会話力を養うことになりました。小学校で学んだ内容を中学校につなぎ、より一層小中連携が必要になると思います。
- ・外国人英語指導助手（ALT）の配置強化が図られ、コミュニケーション能力の充実に努められていると思います。ALTの更なる増員により外国語教育の一層の充実が図られることを望みます。



**施策（３）社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進**

**取組**

<p><b>ア 環境教育の推進</b>          ・宮代江戸の日（7月の第1土曜日）           ・キッズエコサミット（12月）</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>イ 情報教育の推進</b>          ・情報モラル教育          児童生徒、保護者、教職員を対象とした情報モラル教育を実施による、ネットトラブル防止を含めた、情報モラル意識の向上   <b>◎ ICT教育の推進</b>          パソコン教室リプレースに合わせた実践的取り組みの検討</p>	<p>学校教育 教育総務</p>	<p>○</p>

**施策（４）特別支援教育の推進**

**取組**

<p><b>ア 障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適正な就学支援の推進</b>          ・就学支援委員会（年3回）          特別な配慮を要とする児童生徒への教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援   <b>◎ことばの教室開設（百間小学校）</b>          聴覚及び言語に課題のある児童に、課題の改善・克服に必要な技能を身につけさせる指導の実施   <b>◎情緒学級開設（東小学校）</b>          自閉・情緒に課題のある児童の教育的ニーズに応じた、適切な指導の実施</p>	<p>学校教育</p>	<p>◎</p>
<p><b>イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進</b>          ・交流活動の実施          宮代特別支援学校・春日部特別支援学校、小中学校間との交流活動          ・特別支援学校との連携(支援籍交流等)</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用</b>          ・特別支援教育サポーター、サポートチーム          各小・中学校訪問の実施（拡充・各校1回以上実施）          発達検査（ウイスク）等の検査の実施</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

<p>▼環境教育担当者会議の開催 (H28. 5. 19) 各校の環境教育の取組、キッズエコサミット・子ども環境会議について</p> <p>▼宮代江戸の日 (7月の第1土曜日:7月2日) の取組 庁舎内に各小中学校の代表的な取組を掲示 (各校30名)</p> <p>▼キッズエコサミット (H28. 12. 13) 各校の取組発表、キッズエコライフの取組に関するパネルディスカッション</p>	<p>・宮代町の環境教育は、先駆的な取組が進められていると思います。宮代江戸の日冬バージョンの設定など、子供たちが主体となって家族を巻き込んでいく取組が広がってきています。</p>
<p>▼学校ICT環境構築デモ実施 (H28. 8. 25) 教職員対象 デジタル教科書、タブレット端末の展示説明会 参加者アンケートによる需要調査実施</p>	<p>・学校のICT教育の環境が整う中で、併せてネットトラブル防止など情報モラル教育も大切にしてください。</p> <p>・私たちが育った時代とは違うので、今の教育は大変だと思いますが、教育とは心と体も含めて育むものだと思うので、学校・家庭・地域が連携して子供たちを育てていく必要があります。</p>

<p>▼就学支援委員会 (年間3回開催 H28. 7. 7、11. 15、H29. 1. 17) 特別な配慮を要する児童生徒に対しての教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援</p> <p>▼特別支援教育サポートチームによる各小・中学校訪問 (各校1回以上実施) ・児童生徒の観察と、専門的な立場から対象児童生徒の問題分析と効果的な指導法や対処法について学校へ提案 ・学校からの要請に応じて、ウイスクIV (発達検査) の実施</p>	<p>・児童生徒の一人一人に応じた学びの環境を個々に合わせて整えている。学びの場を通級指導教室や特別支援学級などに広げたり、必要に応じて医療や福祉からの支援を受けられることは大変恵まれています。</p> <p>このような支援を可能にするには、保護者の理解と協力が必要です。個々のケースに応じて保護者とサポートチームのメンバーとの面談等は、より保護者の理解が進み、安心感につながると思います。</p> <p>・「サポートチーム」の活動は、専門的な立場から個のニーズに対応されており、今後も適切な支援に結び付けられると良いと思います。</p>
<p>▼交流活動 (宮代特別支援学校、百間小、前原中) の実施 ▼支援籍の実施 (笠原小、百間小、百間中)</p>	<p>・障がいや特別な配慮を要する児童生徒に対して、町内の学校において学びの場が整ったことは素晴らしいと思います。</p>
<p>▼特別支援教育サポーター配置 (小学校各1名) 特別に配慮を要する児童に対しての適切な支援</p>	<p>・ニーズに応じて、医療・福祉等分野と連携して推進してほしいと思います。</p> <p>・近隣の特別支援学校と連携して、様々な交流活動が図られていることは、子供たちの成長にとって、とても大切な取組だと思います。</p>

基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成

施策(1) 豊かな心をはぐくむ教育の推進

取組

<p><b>ア 道徳教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代道徳の日（毎年11月19日）の推進 規範意識や生命を大切にする心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた学校における取り組みを地域へ発信</li> <li>・郷土資料・彩の国道徳資料の活用 郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）の活用した、心の教育の推進 道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みどりの学校ファーム 米作り、野菜作りの実施</li> <li>・各小中学校での福祉体験学習 車椅子・点字・手話・アイマスク体験</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>ウ 読書活動の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書ボランティア活用 各小中学校の図書室の整備・本の紹介等、読書環境の充実</li> </ul> <p><b>◎町立図書館との連携強化</b></p> <p>図書館司書の巡回と新図書館システムによるデータ連携</p>	<p>学校教育 生涯学習</p>	<p>○</p>
<p><b>エ キャリア教育・職業教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生社会体験チャレンジ事業の推進 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

▼「宮代道德の日（11月19日）」の設定（各小学校で実践）

規範意識や生命を大切に作る心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた取組準備

▼郷土道德資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）の活用

- ・身近な地域教材を活用した心の教育の推進
- ・道德教育に対する教員の意識や授業力の向上

▼年次研修における授業研究会の実施

・「宮代道德の日」の設定、庁舎における取組の掲示、教員の意識や授業力の向上などに向けて、町独自の道德教育が推進されていると思います。

▼学校ファームの推進（各小中学校）

▼各小中学校での福祉体験学習

（車椅子・点字・手話・アイマスク体験）

▼朝の読書活動、学校図書ボランティア活用、学校図書の充実（各小中学校）

小学校における「読み聞かせ、読み語り」の実施

・学校図書の充実とともに町立図書館と連携して、子供たちが読書活動に取り組みやすい環境づくりが進められていることは良いと思います。

▼職場体験学習を各中学校で実施

（6月実施・中学2年生）

事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成

▼ふれあい講演会（須賀中・前原中で開催）南極クラス（ミサワホーム）、腹話術・手品

進路に対する生徒・保護者の意識の啓発

▼25地区進路指導・キャリア教育授業研究会

期日：H28.12.10 会場：前原中学校

施策（２）総合的な不登校対策の推進  
取組

<p>ア 教育相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談、支援体制の整備</li> <li>教育相談員配置（事務局１名）、学校訪問（月１回）</li> <li>スクールカウンセラー（県より１人、月に２日各中学校に配置）</li> <li>さわやか相談員（各中学校１名配置）</li> <li>ボランティア相談員（各中学校１名配置）</li> <li>不登校対策学習支援員（各中学校に１名配置）</li> </ul> <p>◎スクールソーシャルワーカーを小学校に１名配置 （拠点校 百間小）</p> <p>子供の家庭環境による問題に対処するために、関係機関との連携や教員を支援</p>	<p>学校教育</p>	<p>◎</p>
<p>イ いじめ防止・不登校対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代町いじめ不登校対策連絡会議の実施（年３回）</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

<p>▼不登校対策学習支援員配置（中学校各1名）</p> <p>▼教育相談員（教育委員会事務局内1名配置） 教育相談員による学校訪問（毎月1回、各小中学校を訪問）</p> <p>▼さわやか相談員（中学校各1名配置） ボランティア相談員（中学校各1名配置） さわやか相談室等で学び、教室への復帰支援</p> <p>▼スクールカウンセラー （県より2名、月に2日各中学校に配置） 専門的な見地からの保護者への支援や相談活動</p> <p>▼スクールソーシャルワーカー配置 （拠点：百間小学校）</p>	<p>・不登校対応として、各校とも教室への復帰に向けた一時的な居場所と学びの場の確保に努めています。学校を中心として、子供を取り巻く「環境」に働きかけをしてくださるスクールソーシャルワーカーが配置されたことは大きな支えになっています。</p> <p>・平成28年度から配置され、当初は手探りであったが、根が深いケースについて「本人」だけでなく「家庭」、「周囲」を交えて粘り強く働きかけをしていくことが大切だと思います。</p>
<p>▼いじめ・不登校対策会議の実施 （年間3回開催 H28.6.22、11.25、H29.3.7） 各校の課題や成果ある取組みについての共有化</p>	<p>・「いじめ・不登校対策会議」などを通じて関係機関の連携を図っています。また、国方針の改定に合わせ校長会等を通じて周知、意識を高める研修などを実施しています。</p> <p>・「宮代町いじめ防止基本方針」の周知徹底が大切だと思います。</p> <p>・不登校対策学習支援員が配置されるなど教育相談体制が充実する中で、小中学校が連携を強化して、一人一人に寄り添った適切な支援が進められていると思います。</p>

**施策（3）健康・安全教育の推進**

**取組**

<p><b>ア 交通安全教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全啓発資料「気をつけて」の作成</li> <li>・交通安全ポスター・作文コンクール</li> <li>・交通安全教室（各小中学校）</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>イ 防災教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練（各校）</li> <li>地震・火災・竜巻・不審者対応訓練の実施</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>ウ 防犯教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯ブザー配布（小学1年生）</li> <li>・薬物乱用防止教室</li> <li>・不審者対応訓練</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>エ 体力向上を図る指導の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上推進事業</li> <li>授業研究会・各校の実態に応じた取組の実施</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>オ 学校保健の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健委員会</li> <li>各校において児童生徒の健康増進に関する取組の実施</li> </ul>	<p>学校教育 教育総務</p>	<p>○</p>

<p>▼啓発用資料・防犯対策啓発資料「気をつけて」作成 ▼交通安全教室開催(各小中学校) ▼交通安全ポスター、作文コンクール</p>	
<p>▼避難訓練(各小中学校) 地震、火災、竜巻等を想定した避難訓練及び引渡し訓練の実施</p>	
<p>▼防犯ブザーの配布(新入学児童 256人) ▼不審者対応避難訓練の実施(各小中学校) ▼各小中学校において年に1回、薬物乱用防止教室を開催</p>	<p>・学校施設の防犯カメラ等が設置される中で、不審者対応避難訓練などソフト面における教育や対策が大切になってくると思います。特に不審者対応では、個人情報への配慮を前提に、関係者間での情報共有が図られることで、より一層の地域連携の強化につながると思います。</p>
<p>▼宮代町立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会(年間4回) ・体育部会 進んで体力づくりに取り組める児童生徒の育成(研究授業:H28.10.12、百間中学校) ・保健部会 自らの健康を保持・増進できる児童生徒の育成(各校の健康教育の実践)</p>	
<p>▼平成28年度第63回埼玉県学校歯科保健コンクール 最優秀校 百間中 優良校 笠原小 前原中 入選校 百間小 ▼学校保健委員会 ・各小・中学校における学校保健委員会の実施</p>	<p>・異常気象により体調を崩しがちです。日常の健康管理と、熱中症や感染症などの予防対策を徹底し、今後も適切に処置してください。</p>



**施策（４）学校教育における人権教育の推進**

**取組**

<p><b>ア 人権教育推進体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代町人権教育推進協議会との連携 人権問題研修会開催、各種研修会への参加</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの人権講座（対象：小学6年生、12月）</li> <li>・人権作文発表会 人権作文「あおぞら」編集</li> <li>・人権教育に関する研修会</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

**施策（５）学校給食の充実と食育の推進**

**取組**

<p><b>ア 学校給食の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な献立メニュー 「世界の料理」「日本全国の郷土料理」「季節の行事食」「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成する取り組み</li> <li>・地場産食材の活用促進</li> <li>・アレルギー対策の実施 除去食、代替食の提供</li> </ul>	<p>教育総務</p>	<p>○</p>
<p><b>イ 食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養指導（全小中学校、小学1年生から中学2年生） 学年毎テーマを設けて食育を推進</li> <li>・家庭向けの食育推進 給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）</li> </ul>	<p>教育総務</p>	<p>○</p>
<p><b>ウ 衛生管理の徹底</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生点検の実施</li> </ul>	<p>教育総務</p>	<p>○</p>

▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動  
人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られ、研修等を通して人権について考えるきっかけを提供し、人権を尊重する意識を高揚

▼人権文集（あおぞら第22集）の発行 700部

▼宮代町人権教育推進協議会による啓発  
研修会 3回開催・延べ98人参加  
H28. 6. 24、12. 2、H29. 2. 2

▼教職員研修会開催（H28. 8. 19）  
テーマ「差別の現実から学ぶ」130人

▼子どもの人権講座  
（H28. 12. 1、7 小学6年生）258人

▼人権作文発表会  
（H28. 12. 2 小中学生 ） 125人

・人権講座の開催は当事者のナマの声を聴くことで、より身近な問題として捉え、子供たちにとっても実感あるものになっていくと思います。

▼多様な献立メニューの実施  
「世界の料理（オリンピック）」、「各都道府県の郷土料理」、「季節の行事食」、「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成

▼地場産食材の活用

▼放射線対策

- ・使用食材の産地（予定・実績）公表（毎月）
- ・使用食材の放射性物質測定（毎週1回、3品目）

▼平成28年度 学校給食調理コンクール第1位  
（埼玉県教育委員会教育長賞）

▼食育の推進

- ・学年に応じたテーマによる栄養指導（小学1年生～中学2年生）
- ・給食だより（毎月）、食育だより（毎学期）による食育推進

▼施設の定期保守・点検と改修・修繕

- ・改修・修繕の実施

▼定期点検実施

・宮代町の学校給食は、地場産食材の活用とともに多様なメニューを工夫し、コンクールでも優勝しています。献立内容、食育、衛生管理に努め、地域と連携した取組を引き続き推進してください。

・宮代町では他の市町村にない、「除去食」「代替食」によるきめ細やかなアレルギー対応がなされており、一人でも多くの児童生徒が給食を食べられるよう配慮がされています。

基本目標3 地域に開かれた質の高い学校教育の推進

施策(1) 創意を生かし、家庭・地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

取組

<p>ア 学校評議員の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員（各校5名）会開催</li> <li>毎学期、教育活動全般についての意見交換を通じて提言や意見を活用した特色ある学校づくりを展開</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>イ 学校教育情報の積極的な発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校HP、学校だより 等</li> <li>・授業公開、学校行事（運動会、文化祭等）</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>◎</p>
<p>ウ 学校評価の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価の実施と分析、活用、結果の公表</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>エ 学校応援団の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民みんなが先生制度</li> <li>・環境整備、学習ボランティア 他</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p>オ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども110番の家</li> <li>・スクールガードの配置（各小学校で組織）</li> <li>・通学路点検</li> </ul>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

<p>▼学校評議員会設置（小中学校各5名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般についての意見交換</li> <li>・提言や意見を活用した特色ある学校づくりの展開</li> <li>・次年度の学校課題や目標設定の参考として活用</li> <li>・地域での子供たちの様子等についての意見から具体的な対応を実践</li> </ul>	
<p>▼学校要覧、学校パンフレットの作成（全小中学校）</p> <p>▼学校だよりの作成（全小中学校） 地域へも配布</p> <p>▼小中学校公式ホームページ管理システム導入（H29.3～）</p> <p>CMS（コンテンツマネジメントシステム）方式による各校毎のホームページ作成</p>	<p>・各学校によってホームページの工夫など新たな取組が進められています。学校だよりやパンフレットなども活用して積極的に学校の情報を地域に発信してほしいと思います。</p>
<p>▼学校関係者評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校自己評価への関係者評価委員からの評価・意見を次年度の教育計画等に反映</li> </ul> <p>▼保護者、地域への学校評価の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の課題の明確化と、次年度に向けての教育計画の更新</li> </ul>	
<p>▼学校応援団活動</p> <p>図書ボランティア、環境整備、部活動・学習支援、スクールガード他</p>	
<p>▼「こども110番の家」の設置（126軒、前年度より1件の減）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抑止力として、不審者による重大な事件発生なし</li> </ul> <p>▼「スクールガード」（各小学校で組織、計323名）</p> <p>「スクールガードリーダー」（小学校に各1名、県からの委嘱）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時における不審者情報の減少</li> <li>・地域の防犯意識の高揚</li> </ul> <p>▼各小中学校における避難訓練（毎学期）</p> <p>▼緊急時における対応マニュアルの見直し</p>	<p>・地域の見守りや防犯パトロールなどが行われ、安全に対する意識が強い反面、子供たちは「自分の命は自分で守る」ことにやや意識が薄いと感じます。基本的には、「知らない人にはついていかない」「一人では遊ばない」など繰り返し教えていく必要があります。</p> <p>・警察が有している情報を各家庭に配信する仕組みや、「子ども110番の家」の周知徹底など、家庭・地域が連携した防犯意識の高揚に努めていくことが大切と思います。</p>

**施策（２）教職員の資質向上**

**取組**

<p><b>ア 人事評価制度の充実</b>          ・年間スケジュールに基づいた人事評価の充実</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>イ 教職員研修の充実</b>          ・臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実          ・各種研修会への参加推進</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>ウ 教職員モラルの向上</b>          ・倫理確立委員会（各校）          年間計画に基づいた、ボトムアップ型の委員会実施</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>エ 教職員の健康管理</b>          ・教職員健康診断の実施（８月）          ・ストレスチェックの実施（９月）</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

<p>▼年間スケジュールに基づいた人事評価の充実 適切な人事評価実施のために研修会実施</p>	<p>・子供たちを取り巻く環境が複雑化する中で、管理職と教職員一人一人が連携して指導力の向上につながるような制度であることを望みます。</p> <p>・教職員の資質の向上について、評価によってどんな先生が良い先生なのかを判断するのは難しいですが、「子供のことを真剣に考えられる教師」が適正に評価されることが大切で、結果として資質の向上につながるものと考えます。</p>
<p>▼対象、階層別研修 ・臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実 ・各種研修会の実施</p>	<p>・授業の質を高めながら、教育内容や授業時間を減らさずに、新たな課題への対応が求められています。各校では、教員の事務作業や部活動への負担軽減など、さまざまな工夫・改善が図られているが、より一層の体制整備をお願いします。</p>
<p>▼倫理確立委員会及び服務研修会の実施（各校）</p>	<p>・「働き方改革」が話題であり、教職員が健康に業務に当たれる環境づくりが必須だと思います。</p>
<p>▼教職員健康診断（H28.8.10） ▼ストレスチェック（H28.9.9）</p>	<p>・毎月21日を「ふれあいデー」として定時退勤を促進し、また「出退勤表」を作成し、勤務時間の長い教職員との話し合いを通じて健康管理と確認、改善に努められていると思います。</p>

**施策（3）学習環境の整備・充実**

**取組**

<p><b>ア 学校施設・設備の整備</b>          ・小中学校施設の管理運営（保守、修繕・改修）</p> <p>◎中学校防犯カメラ設置(中学校3校)          防犯対策として設置</p> <p>◎教育系ネットワークシステム整備          校務支援システム導入</p> <p>・パソコン教室リプレース準備</p>	<p>学校教育 教育総務</p>	<p>◎</p>
<p><b>イ 教材教具の整備と効果的な活用</b>          ・教材教具・備品整備</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>
<p><b>ウ 町立小中学校の適正配置</b>          ◎地区別説明会実施          宮代町町立小中学校の適正配置に関する基本方針及び再編計画の説明          ・教育フォーラム2016開催          地区別説明会、庁内検討結果の報告、意見交流機会として実施</p>	<p>教育総務</p>	<p>△</p>
<p><b>エ 就学に対する支援</b>          ・就学援助制度の活用推進</p>	<p>学校教育</p>	<p>○</p>

## ▼学校施設環境の維持・改善

## 主な改修・修繕

- 笠原小学校耐震補強工事 (H28. 7. 1～9. 9)
- 須賀小中学校歩道橋改修工事 (〃)
- 中学校防犯カメラ設置工事 (H28. 8. 8～10. 21)

## ▼小中学校エアコン設置着手

- 普通教室 (小学校2～6年生・中学校1、2年生)
- 音楽室への設置

## ▼教育系ネットワーク構築 第Ⅱ期

## 校務支援システム導入

- 平成28年10月 グループウェア稼動
- 平成29年 4月 児童生徒名簿、成績処理稼動

## ▼放射線対策

- ・大気中の放射線量の定期測定 (月1回)
- ・ホットスポット計測 (年2回)

## ▼授業の内容を深め、学力向上を図るため教材教具の設備充実

- 理科、体育、音楽の教材教具
- 力学台車、磁界観察器、バレーボール支柱、楽器 (コントラバス、ビブラフォン)

## ▼地域説明会

- (平成28年10月2日～8日・全6回開催)
- 「宮代町立小中学校適正配置計画 (H28. 3)」説明

## ▼教育フォーラム2016 《未実施》

地域説明会の結果及び町議会における請願採択を踏まえ、検討期間を設ける必要が生じたためフォーラム開催は見送り。

## ▼就学援助費の支給 ( ) 内は前年度

- | ・小学校           | 対象者    | 金額            |
|----------------|--------|---------------|
| 就学援助費支給者       | 150名   | 9,258,418円    |
|                | (160名) | (9,753,522円)  |
| 特別支援教育就学奨励費支給者 | 15名    | 444,843円      |
|                | (12名)  | (334,493円)    |
| ・中学校           |        |               |
| 就学援助費支給者       | 110名   | 10,620,588円   |
|                | (125名) | (13,060,620円) |
| 特別支援教育就学奨励費支給者 | 3名     | 155,790円      |
|                | (3名)   | (102,619円)    |

・学校施設の長寿命化に努めるとともに、中学校の防犯カメラや教育系ネットワークの設備が整ってきています。子どもたちの安心安全な施設環境の維持・改善に努めていってほしいと思います。

・学校施設の適正配置は、子供たちにとって望ましい教育環境を整えるため重要です。地域や保護者等から意見を聴取し検証したうえで、将来像を明確化してほしいと思います。

・経済的に困窮している家庭も多いので、子供たちが等しく教育を受けられるよう「就学に対する支援」、「学習支援活動」を進めていってほしいと思います。

・「就学に対する支援」、対象者は減少しているようであるが、学習支援活動は継続してほしいと思います(埼玉県事業として継続実施中)。



方針2 町民の創意を生かした学びの場づくり

基本目標4 家庭・地域の教育力の向上

施策(1) 家庭の教育力の向上

取組

ア 家庭教育学級活動の推進

- ・家庭教育学級開催
- 学校との連携

生涯学習

○

イ 家庭教育への支援

- ・家庭教育支援
- 入学準備金貸付金補助
- 奨学資金貸付

教育総務

○

施策(2) 青少年健全育成の推進

取組

ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進

- ・青少年非行防止活動(青少年育成推進員)
- コンビニエンスストア巡回、夜間パトロール実施など

生涯学習

○

イ 青少年体験活動の推進

- ・子ども大学みやしろ  
子供たちの知的好奇心に応える場として日本工業大学を中心として講座開設
- ・みやしろ郷土かるた大会  
郷土宮代の歴史、名所、文化などを感じ郷土愛を育むため実施  
競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供

生涯学習

○

◎みやしろ郷土かるた制作

初版から20年経過のため内容を更新、新たな郷土学習ツールとして多面的に活用

▼家庭教育学級の開催（各小学校・H28.10.4・6）  
 小学校と連携し、就学時健康診断の時間を活用して親の学習会を開催  
 須賀小学校51人、百間小学校64人  
 東小学校 58人、笠原小学校62人

・県家庭教育アドバイザーと連携し、就学時健診を活用した親の学習会、子育て講座を有意義に活用しながら家庭教育を考える一助になるとよいと思います。

▼入学準備金補助制度 利子補給 上限30,000円  
 H28申請件数 2件（H27 6件）

・子供の教育はやはり基本は家庭にあるのではないかと。子は親を見て育つ、良いにつけ、悪いにつけ、親は最初の教師になると思う。ただ、子供たちは真っ直ぐ受け取ったり、反面教師となったり難しい。

▼青少年非行防止活動（青少年育成推進員）  
 駅頭キャンペーン7月7日、夜間パトロール8月28日  
 コンビニエンスストア（有害図書）巡回11月18日

▼子ども大学みやしろ H28.9.3～10.15 4日間  
 子供たちの知的好奇心に応える場として日本工業大学を中心として講座開設。学校の授業では経験できない知識や体験を通じて「学ぶ力」や「生きる力」を育成

・新みやしろ郷土かるたは、4,000人を超える多くの応募のうえ、改定されたことは青少年の郷土愛を育むうえでも素晴らしい取組だと思います。

参加者： 51人（H27 54人）

▼みやしろ郷土かるた大会（H28.7.3）

参加者：55チーム・165人  
 （H27 67チーム・201人）

▼彩の国21世紀郷土かるた宮代大会（H29.1.22）

参加者：個人戦3名、団体戦の部9組・36人  
 （H27 個人戦6名、団体戦の部9組・36人）

※上位チームは埼玉北大会及び県大会に出場

▼あそべんちゃーわーど（平成28年7月31日）

内容：山崎山の自然を活かした各種体験事業（共栄大学と連携）

対象：小学生 参加者48人（H27 39人）

会場：山崎山、新しい村

▼新みやしろ郷土かるた制作（H28.4～H29.3）

初版から20年が経過したみやしろ郷土かるたを全面改訂

・作品応募点数・応募者数

読み句：6,185点/2,002名

（初代かるた制作時 3,537点）

絵札原画：1,590点/1,551名

（初代かるた制作時 1,647点）

名称：1,142点・642名

・印刷部数 1,500部

<p>ウ 育成団体との連携・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年相談員活動（サマーキャンプ他）</li> <li>・青少年育成推進員活動（非行防止パトロール他）</li> <li>・子ども会育成連絡協議会との連携（かるた大会他）</li> <li>・青少年健全育成団体支援（特定分野総括助成金）</li> </ul>	生涯学習	○
--	------	---

▼青少年育成団体との連携

- ・青少年相談員サマーキャンプ実施委託  
(H28. 7. 29～31)
- ・青少年育成推進員による啓発活動、非行防止パトロール他の実施（再掲）
- ・子ども会育成連絡協議会のかるた大会への協力（審判、読み手）
- ・特定分野総括助成金の交付  
宮代町子ども会育成連絡協議会  
164,000円（H27 164,000円）  
宮代ボーイスカウト第1団  
67,000円（H27 67,000円）

・地域のお兄さん、お姉さんが子供たちとの関わりを通じて、リーダーとして活躍できる支援の充実が大切だと思います。特に「青少年相談員サマーキャンプ」では、参加した子供がやがてリーダーとして子供たちに教える立場になるなど、次の世代につながっていく仕組みとなっていると感じます。

基本目標5 生涯学習とスポーツの振興

施策(1) 町民の創意を生かした生涯学習の推進

取組

<p>ア 生涯学習の機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みやしろ大学（対象60歳以上）</li> <li>運営委員（7名）を中心とした講義等の企画・運営</li> </ul>	生涯学習	○
<p>イ 公民館活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館3館の適正管理</li> <li>利用者の安全と快適な利用環境づくりのため、週2回の巡回点検をはじめ、定期清掃、消防訓練などを実施</li> </ul>	生涯学習	○
<p>ウ 図書館活動とサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町立図書館の管理運営（指定管理者との連携）</li> <li>◎新図書館システムを活用した小中学校図書室との連携強化</li> <li>・郷土資料のデジタル化</li> </ul>	生涯学習	○

▼みやしろ大学の開催  
 [平成28年4月～12月・全8回]  
 ・受講生から募った運営委員（7人）による自主的な企画・運営  
 登録：338人（H27 279人）  
 アンケート満足度：85%（H27 82%）

▼平成29年成人式（平成29年1月8日）  
 ・実行委員（新成人11人）による企画運営  
 出席者数：217人（H27 226人）  
 出席率：63.3%（H27 65.1%）

▼3館（和戸、百間、川端）体制により運営  
 「地域の身近な学習拠点」として、文化芸術から軽スポーツまで、様々な活動に利用  
 開館日数 308日 稼働率 45.7%  
 （H27 309日 稼働率 44.9%）  
 利用者数 53,194人（53,908人）  
 利用回数 5,074件（4,995件）

▼指定管理者による管理運営  
 指定管理者 （株）図書館流通センター  
 指定期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

▼蔵書数  
 図書資料 254,999冊（H27 254,433冊）  
 うち一般書195,507冊（H27 195,777冊）  
 うち児童書 59,492冊（H27 58,656冊）  
 視聴覚資料 8,076点（H27 8,048点）

▼開館・利用実績  
 開館日数 289日（H27 288日）  
 貸出者数 98,541人（H27 102,320人）  
 貸出冊数 370,529冊（H27 388,307冊）

▼月例・季節行事等の参加者数  
 延べ4,724人（H27 4,168人）

▼新規事業  
 郷土資料（宮代町史、町指定文化財の高精密画像等）のデジタル化公開  
 電子図書館の開設  
 子ども司書講座の開催 ほか

・町立図書館と小中学校図書室のオンライン化による本のあっせんなど連携が強化された。郷土資料、史料のデジタル化が進められている。指定管理者と連携して、地域の宝となる資料の周知と活用を進めてほしいと思います。

<p><b>エ 文化芸術の振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民文化祭（11月3日～6日） 日頃の生涯学習活動の成果を発表する場、制作者や発表者の励みとなり、鑑賞者が活動に参加するきっかけづくりを实践</li> <li>・文化芸術団体の支援（特定分野総括助成金）</li> </ul>	生涯学習	○
--	------	---

**施策（2）人権教育の推進**

<b>取組</b>		
<p><b>ア 地域社会や職域における人権教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮代町人権教育推進協議会 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくり</li> </ul>	生涯学習	○
<p><b>イ 人権啓発資料の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発資料購入、配布</li> <li>・啓発活動</li> </ul>	生涯学習	○
<p><b>ウ 人権教育指導者の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会への参加</li> </ul>	生涯学習	○

**施策（3）郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造**

<b>取組</b>		
<p><b>ア 文化財保護の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護、保存 文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業</li> </ul>	生涯学習	○
<p><b>イ 遺跡の保護と調査研究の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋蔵文化財発掘調査</li> <li>・道仏遺跡調査報告書の刊行</li> </ul>	生涯学習	○

- ▼第38回町民文化祭  
(平成28年11月3日～11月6日)
- ・町民の生涯学習活動の発表、鑑賞者が活動に参加するきっかけづくりの場として開催  
舞台発表：1,458人 (H27 1,408人)  
作品展示：1,985人 (H27 1,828人)  
文化公演会 (ガラスハープコンサート)：353人
- ▼特定分野総括助成金の交付
- ・市民団体との継続的な協働により、町の文化芸術の振興を図るため、宮代町文化協会に対し助成金を交付  
宮代町文化協会425,000円 (H27 425,000円)

平成28年度の執行状況

点検・評価委員意見

- ▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動  
人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進を図るため、研修会等を通して人権について考える機会を提供

・人権教育は、継続した地道な啓発が重要と思うので、各種研修会、教職員の研修などの機会を確保して取り組んでほしいと思います。

- ▼人権文集 (あおぞら第22集) の発行 700部
- ▼埼玉葛郡市人権教育・啓発ビデオライブラリー等を活用し、みやしろ大学県外研修時等に人権教育・啓発DVDを視聴

- ▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会 3回・295人

平成28年度の執行状況

点検・評価委員意見

- 文化財保護法に基づく、試掘調査、整理作業
- ▼埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査 9件  
(西光院遺跡2件、藤曾根遺跡、地蔵院遺跡、姫宮神社遺跡、中遺跡2件、伝承旗本服部氏屋敷跡、須賀遺跡)
- ▼埋蔵文化財の遺物整理
- ・地蔵院遺跡等の整理作業を実施
- ▼道仏土地区画整理事業に伴う道仏遺跡の整理作業
- ・平成20、22～23、25～26、26年度道仏遺跡の発掘調査の整理作業を実施
- ・古墳時代中期後半から後期前半では珍しい須恵器の多量の出土。朝鮮半島系の土器の出土など本地域の中心的な集落と推定される。

・埋蔵文化財の整理、道仏遺跡発掘調査報告書の刊行、文化財案内板の設置が進められた。郷土資料館の来館者も多くなっており、各種講座や企画展などを工夫しながら伝統文化の継承に努めてほしいと思います。

町内に残る貴重な文化財の保護と、文化財に対する調査

- ▼文化財保護委員会の運営 (委員8名)  
3回開催 H28.6.15・12.17、H29.3.22  
指定文化財候補について審議、調査  
文化財案内板設置場所候補の審議
- ▼指定文化財保存事業補助  
県指定文化財五社神社防災設備保守点検事業
- ▼道仏遺跡発掘調査報告書の刊行



<p>ウ 文化財の活用と郷土学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財案内板設置</li> </ul>	生涯学習	○
<p>エ 資料館活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館管理運営</li> </ul> <p>「見て、聞いて、体験して」という基本的な考えのもと、特別展や企画展、講座等を実施、資料の整理、保存、調査、研究を推進</p>	生涯学習	○

▼町内に残る貴重な文化財を保護するための啓発活動  
・文化財保護委員会での文化財案内板設置の候補地の審議  
・青林寺に青林寺・百間陣屋と地藏院に案内板を設置。

▼開館実績 日数 291日／利用者総数 14,953人  
「見て、聞いて、体験して」という基本的な考えの下、特別展や企画展、講座等を実施と資料の整理、保存

▼普及、啓発事業の実施

・資料館だよりの発行(11月と3月に第56・57号を発行)

・郷土資料館のホームページをより充実させ、宮代町の歴史、文化財の紹介。

・金原稻荷神社の初午祭で金原地区の歴史の講演。職員派遣 70人。

▼特別展・企画展の開催

「江戸時代の百間本村」H28. 7. 16～10. 23 4,410人

「宮代町の指定文化財」H28. 10. 29～12. 25 2,597人

「ひなまつり」 H29. 1. 7～3. 12 3210人

「埼玉県東部地区の交通」H29. 3. 18～5. 7 696人 (3月末まで)

▼各種講座・講演会を開催

・特別展講演会

「鎌倉・室町時代の宮代町」H28. 11. 20 17人

「仏像～円空仏を中心に」 H28. 11. 23 19人

「西光院の歴史と文化財」 H28. 12. 3 14人

・歴史講演会「埼玉東部低地の人々の暮らし」  
H29. 3. 19 31人

▼歴史ウォーク「文化財散策」

「和戸駅コース」 H28. 11. 13 8人

「姫宮駅コース」 H28. 11. 27 10人

「東武動物公園駅コース」 H28. 12. 10 6人

▼小学生への昔の暮らしや道具の説明等の学習支援

・「笠原沼」

百間小4年生 H28. 11. 9 59人

・「昔の暮らしの道具」

笠原小3年生 H29. 1. 24 69人

百間小3年生 H29. 2. 3 86人

須賀小3年生 H29. 2. 8 64人

東小3年生 H29. 2. 15 41人

施策（４）地域スポーツの振興

取組

<p><b>ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民体育祭（１０月９日） 町民の健康増進、体力の向上、生きがいきつくりと地域コミュニティの醸成</li> <li>・綱引大会（１２月４日）</li> <li>・各種スポーツ大会・教室</li> <li>町民スポーツ大会、ファミリーハイキング、年少者スキー教室</li> </ul>	生涯学習	○
<p><b>イ 誰でも気軽に参加できる健康・体力づくり活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人のスポーツフィールド（全１０回）</li> <li>・あそびと運動 トライ（対象：小学校１・２年生 春・秋 各５回） チャレンジ（対象：小学校３・４年生 全１５回）</li> <li>・大人の体力テスト</li> </ul>	生涯学習	○
<p><b>ウ スポーツ施設の運営と利用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町営グラウンド、テニスコート、アーチェリー場の適正管理 地域の身近な運動広場として、草刈や修繕など適切な管理を行い、スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため地域活動などにも利用</li> <li>◎ぐるる宮代（指定管理者との連携協議） 総合体育館プール棟天井改修工事実施 管理業務や経理状況に関する報告（随時）、定期打合（月１回）実施</li> </ul>	生涯学習	○
<p><b>エ 学校体育施設利用の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設開放（校庭、体育館等）</li> </ul>	生涯学習	○

▼第44回町民体育祭  
(平成28年10月9日 雨天中止)  
参加チーム20 (47地区)  
平成27年度20 (47地区)

・「高齢化」が課題。若い人の参加が少なくなってきており、様々なかたちで促していくことが求められます。

▼町民スポーツ大会 (9大会)  
参加者総数 H28実績 1,144人

・学校においても部活動に制約があると聞きますので、「生涯スポーツ」の取組の充実が必要です。

▼第33回宮代町綱引大会 (H28.12.4)  
参加36チーム、358名

・町民体育祭などスポーツ・レクリエーション活動の見直しが進められており、多くの町民が気軽にスポーツに親しむことができる機会の充実に努めてほしいと思います。

▼第19回ファミリーハイキング (H28.10.23)  
参加者42名  
行先：東京都 御岳山

▼第42回年少者スキー教室 (H29.1.7~8)  
雪不足のため中止  
行先：栃木県湯元スキー場  
対象：小学4~6年生 参加申込者数189名

▼総合運動公園  
開館日数300日／利用者総数 213,972人

- ・指定管理  
第2期：H25.4.1~H30.3.31 ミズノグループ  
管理業務や経理状況に関する報告(随時)  
定期打合(月1回)実施
- ・大規模修繕、改修  
プール棟天井改修工事 H28.12~H29.1末
- ・自主事業の実施  
参加者延べ人数 H28実績 43,066人  
スポーツ(テニス教室、水泳教室、バドミントン教室、新体操教室等)  
健康(膝痛・腰痛体操教室)

・ぐるる宮代の改善や、日常に利用で気づいた点について、指定管理者(ミズノ)、町の双方の連携が不足しているようであれば改善してほしい。

・施設利用者と近隣住民とのトラブルがたまにあります。利用する人も、近隣の人も「お互いに譲り合って」と思うのですが、最近は自己主張の強い人が多くて町へのクレームにもつながっているようです。

▼社会体育施設  
開園日数359日／利用者総数 (H28 71,698人)  
スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため活動などにも利用される身近な運動場の草刈や修繕など適切な管理を実施

- ・グラウンド(前原、東、宮東、東条原)
- ・宮東テニスコート
- ・山崎アーチェリー場

▼学校施設開放(夜間及び土日祝日の開放)

- ・体育館(各小中学校) 集会室(笠原小学校)  
体育館等利用 H28実績 1,781件 27,408人
- ・校庭(各小学校) 夜間照明(前原中学校)  
校庭利用 H28実績 581件 13,165人

<p>オ スポーツ指導者の養成と団体支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員活動（各種研修機会）</li> <li>・スポーツレクリエーション団体支援（特定分野総括助成）</li> </ul> <p>体育協会、レクリエーション協会の広報活動、各加盟団体活動費等を助成</p> <p>◎総合型地域スポーツクラブ育成支援</p>	生涯学習	○
---	------	---

- ▼スポーツ推進委員活動（推進委員数11名）
- ・大人のスポーツフィールド  
（全10回中 9回開催・延べ69人）
  - ・あそびと運動  
トライ 小学1・2年生対象  
春季5回開催16人・延べ59人  
秋季5回開催21人・延べ96人  
チャレンジ 小学3・4年生対象  
全15回 19人・延べ190人  
他レッズサッカーのみの参加2人）
  - ・大人の体力テスト（H28.9.4開催・参加者20人）
- ▼広報誌「スポーツ推進委員だより」発行  
（年1回/7月29日発行）

・スポーツ推進員などの指導者の確保が課題だと思います。若い人の参加も少なくなっているようなので、様々なかたちで促していくことが必要だと思います。

・総合型地域スポーツクラブの周知と併せて、適切な運営と継続していける体制づくりが大切だと思います。

IV. 宮代町教育振興基本計画 成果指標達成状況（H28年度末現在）

基本目標1

施策指標	単位	平成26年度	平成28年度	平成32年度
<b>1 基礎学力定着度</b>				
全国学力学習状況調査において全国平均を上回る科目の割合	小学校	75%	0%	100%
	中学校	100%	75%	100%
埼玉県学力学習状況調査において埼玉県平均を上回る科目の割合	小学校	未実施	67%	100%
	中学校		25%	100%
3 郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会	各中学校区単位	実施	実施	実施
4 環境教育 宮代江戸の日・キッズエコサミットの実施	町全体	実施	実施	実施
5 ICT機器を活用して授業ができる教員の割合(文部科学省調査)	小中学校	65%	67%	90% 以上
6 支援籍交流活動の実施校	小中学校	小中学校全校	小中学校全校	小中学校全校

基本目標2

施策指標	単位	平成26年度	平成28年度	平成32年度
1 小中学校における読書活動	小学校	2冊/月	3冊/月	4冊/月
	中学校	1冊/月	1冊/月	2冊/月
2 不登校(年間30日以上)児童・生徒数の割合	小学校	0.3%	0.4%	0%
	中学校	1.5%	2.3%	0%
3 体力テスト 5段階絶対評価で上位3ランク(ABC)の児童生徒数割合 (埼玉県目標値 小80% 中85%)	小学校	83%	83%	85% 以上
	中学校	87%	88%	90% 以上
4 「学校が楽しい」と思う児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査)	小中学校	84%	92%	100%
5 朝食を毎日食べる児童生徒の割合 (朝食アンケート)	小学校	94.9%	92.4%	95% 以上
	中学校	91.0%	89.0%	95% 以上

基本目標3

施策指標	単位	平成26年度	平成28年度	平成32年度
1 各小中学校のホームページ毎月更新校	小学校	2校	システム導入 (H29.3.1)	全小学校
	中学校	1校		全中学校
2 委嘱研修の実施	小中学校	全校	全校	全校
3 小中学校トイレ改修※ 洋式化の割合	小中学校	全体平均 30%	全体平均 30%	全体平均 50% 以上

基本目標4

施策指標	単位	平成26年度	平成28年度	平成32年度
1 学校と連携した家庭教育学級の開催	全小学校	町教委単独 (学校連携なし)	4	全小学校との 連携開催
2 宮代郷土かるた(改訂版)の製作		平成7年度製作	改訂	達成

基本目標5

施策指標		単位	平成26年度	平成28年度	平成32年度
1 みやしろ大学への延べ参加者数 受講者満足度	参加者数		1,152人	1,374人	1,300人
	受講満足度		90%	85%	92.0%
2 町立図書館の貸出冊数(宮代町民対象)	貸出冊数		237,425冊	215,960冊	244,000冊
3 図書館利用者満足度	利用満足度		93.6%	95.8%	95.0%
4 人権啓発のための各種研修会の実施	開催回数		3回	3回	毎年3回 以上
5 文化財案内板の設置	設置箇所		34基	37基	36基
6 郷土資料館	来館者数		9,321人	14,953人	10,000人
7 スポーツ・レクリエーション教室	参加者数		602人	416人	650人
8 総合型地域スポーツクラブの設置			設立準備	1団体	1団体